

学校法人古川学園 上越高等学校

創立 120 周年記念事業募金 趣意書

上越高等学校は故藤縄正朔先生が明治 37 年「自主・誠実・礼節」の校訓を建学の精神に掲げて女子裁縫学校を設立して以来、110 有余年の星霜を重ねました。送り出した 2 万 5 千人を超える先輩の方々が新潟県内外において活躍しておられることが本校の誇りであります。

女子裁縫学校、高田実科女学校、高田高等家政女学校、高田精華女子商業学校、高田家政高等学校、高田女子高等学校の伝統の上に、被服科、普通科、商業科、食物料を社会の要請に応えて展開しながら、昭和 57 年に男女共学を実施し、校名を上越高等学校として今日に至ったところです。

平成 26 年の創立 110 周年を機に、多くの皆様のご支援を頂き、校舎全面改築を行い、その後柔剣道場「鳳翔館」、サッカー練習場、テニスコート、屋内練習場、人工芝第 2 グラウンド等の施設の設置を行い、教育環境の整備充実を図りました。さらに、学校ビジョン「進学・資格・品格で地域の期待に応える上越高校」の下、特色・魅力ある教育の充実を努めて参りました。特に「ふるさとを見つめ、世界と交流する」をモットーとした国際理解教育を推進し、英語教育・国際コミュニケーション能力の涵養を図ってきました。

これらは本校に学んだ生徒諸君の努力とそれを支えた保護者の方々のご理解とご協力、教育に全力を傾注した教職員の存在に加えて、永年にわたり同窓ならびに関係各位が本校にお寄せくださったご支援があればこそと感謝致しております。

令和 6 年（2024 年）には本校は創立 120 周年を迎えます。これを機に、いっそう魅力ある、憧憬となる学校づくりを推進し、次代を切り開く創造力をもった若人の育成をめざします。創立 120 周年記念事業として、第 2 体育館の建設、生徒専用寮の建設に取り組むこととしました。第 2 体育館は体育授業の展開を改善するとともに、「鳳翔館」と一体的に運用し、卓球、バレーボール、バスケットボール、ダンス、バドミントン、剣道、柔道等の屋内部活動の一層の活躍を推進するためです。

近年はサッカー部を始めとするスポーツ部活の活躍により、本校への上越地域外からの入学生が増加しており、令和 4 年度には全校で 50 名を超えるまでになりました。域外からの生徒のためにアパート等を寮として借り、食事はプレハブによる小さな仮設食堂を設け、2 交代で賄っている状況です。厳しい生活上の環境を改善し、いっそう教育と部活動の向上を図るために、生徒専用寮の建設を決意しました。

少子化が急速に進行し、生徒の定員確保は厳しくなる一方です。幸い本校は目下のところ入学生数は堅調ですが、予断を許しません。今後は首都圏をはじめ地域外からより多くの入学生を視野に入れた生徒募集が必要と思われます。そのためにも、寮の建設は重要な課題です。

厳しい財政状況の中、今後の上越高等学校の持続的発展の基盤となる創立 120 周年記念事業に皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

この記念事業に伴う費用計画は以下の通りです。

第2体育館建設費 約1億5千万円

専用寮 建設費+用地費 約3億円

合計 約4億5千万円

(経営環境の変化により見直しの可能性があります)

これらを実現するための資金の一部としての募金計画は以下の通りです。詳細は別紙「募金のご案内」をご覧ください致します。

募金金額 3千万円 (目標)

募金期間 令和4年10月1日～令和6年9月末 (2年間)

募金活動には多大な困難が予想されますが、ご支援ご協力のほど幾重にもお願い申し上げます。

令和4年10月1日

上越高等学校創立 120 周年記念事業実行委員会

委員長	古川泰男 (古川学園理事長)	顧問	池田定充 (学園理事)
副委員長	水越智 (同窓会長)	〃	橋本真孝 (学園理事)
〃	手塚大也 (PTA 会長)	〃	西山薫 (学園理事)
〃	小林清作 (後援会長、学園理事)	〃	高橋孫左衛門 (学園監事)
〃	風間和夫 (上越高等学校長)	〃	松永芳文 (学園監事)
		〃	水澤弘行 (学園顧問)
		〃	若山宏 (学園顧問)

(事務局：上越高等学校 教頭 木下幸彦、事務長 本間芳之)